甲　山　探　鳥　会

日　時：2025年11月20日（木）　9時～12時頃

場　所：阪急夙川駅～御前浜　　（集合時間/場所：9時/阪急夙川駅南改札口前）

【もっと知ろう　スズメの事】

昔話でもお馴染みで、我々日本人に一番身近な野鳥はやはりスズメでしょうか。
最近「スズメは減っているの？」よく尋ねられますが、私の主観では「それ程でも」と思っていましたが、環境省の「モニタリングサイト1000」の調査によりますと2008年度から2025年度の間に個体数は40％減少し、特に2015年度以降では年間7.4％も減少し、この減少率は、絶滅危惧種に指定される位の減少率だそうです。
その原因として考えられるのは、①急激な気温上昇により、生息に適した地域の減少。②住宅の構造変化による巣場所の減少。③農地、里地の減少。等が考えられるそうです。
さて、そんな絶対数が減少しているスズメですが、その寿命はどれくらいでしょうか。国内で飼育された個体の最長寿命記録は6年3か月との記録も有りますが、自然環境下は過酷ですので一挙に下がります。

例えば100個卵が有るとしますと
ヒナに成れるのは　60羽
巣立ちを迎えられるのは　50羽
翌年迄生き残れるのは　10羽
2年目迄生き残れるのは　6羽
3年目迄生き残れるのは　4羽
4年目迄生き残れるのは　2～3羽
5年目迄生き残れるのは　1～2羽
6年目迄生き残れるのは　1羽
だそうで、厳しいですね。

因みに、スズメの名前由来は
スズメのスズは「チ、チ」、「チュン、チュン」などの鳴き声の擬音語。スズメのメは「群れ」の事で、カモメ、ツバメと同じ、鳥を表す接尾語との事。

この時期見られそうな鳥（鳥名は図鑑掲載順）

	マガモ		バン		エナガ
	カルガモ		オオバン		メジロ
	ハシビロガモ		イソシギ		ムクドリ
	オナガガモ		ユリカモメ		ツグミ
	コガモ		ウミネコ		ジョウビタキ
	ヒドリガモ		カモメ		イソヒヨドリ
	ホシハジロ		セグロカモメ		スズメ
	キンクロハジロ		ミサゴ		キセキレイ
	カイツブリ		トビ		ハクセキレイ
	カンムリカイツブリ		カワセミ		セグロセキレイ
	キジバト		コゲラ		アトリ
	カワウ		ハシボソガラス		カワラヒワ
	ゴイサギ		ハシブトガラス		イカル
	アオサギ		ヤマガラ		ホオジロ
	チュウダイサギ		シジュウカラ		
	ダイサギ		ヒヨドリ		
	コサギ		ウグイス		

（注1）参加されます方は名札の着用をお願い致します。
（注2）トイレは阪急夙川駅及び河川敷に公衆トイレが数か所有ります。

出典：山と渓谷社「野鳥の名前」　　森永啓司